

2025 年度「マツダ財団 青少年健全育成関係 成果報告会」を開催しました



2025 年度の研究者と市民活動団体、若者を支援する事業「若者×ツナグバ^{*1}」参加団体合同による成果報告会を、2026 年 2 月 11 日（水・祝）に、TKP ガーデンシティ広島駅前大橋（広島市南区）において開催しました。

この報告会は、研究と実践の融合、広島県と山口県の市民活動団体等の交流を目的として、研究助成と市民活動支援の終了者の皆さまにお集まりいただき 2019 年度から開催しているもので、2024 年度からは若者×ツナグバ^{*1} 参加団体にも加わっており、今年度は総勢 78 名^{*2} 参加の下、開催しました。

^{*1} 若者一人ひとりが、自分の納得する生き方を見つけ、能力を高め、選択肢を増やし、希望につなげていくことを支援する事業

^{*2} 研究者と研究協力者 3 名（全国 2 大学）、市民団体 57 名（広島県 18 団体、山口県 7 団体）、若者×ツナグバ 7 名（5 団体）、一般参加者、選考委員 等。

プログラムの一つ目は、選考委員であり千葉大学名誉教授・千葉敬愛短期大学名誉教授の明石要一先生による、毎年恒例の基調講演でした。「『食育』と『健康教育』をどう進めるか」をテーマに、ご講演いただきました。

講演は、先生からの 15 項目の問いかけについて、参加者が隣席の方と意見を交わしながら考え、その後に先生から解説をいただくという双方向型のスタイルで進められました。

三択問題では、参加者が該当する選択肢に挙手した後、答え合わせとして先生の解説を伺い、初めて耳にする内容にどよめきが起こったり、真剣な表情でメモを取る姿が見られたり、時

<プログラム>

- * 基調講演
- * スタートラインプロジェクト報告
- * 研究内容・市民活動・若者×ツナグバ
紹介&ポスターセッション
- * パネルディスカッション

折笑いが起こったりと、終始和やかで充実した雰囲気の中、受講されていました。最後の問いである「健康寿命日本一はどこか。三つの条件がある」は、長野県上田市とのこと、健康寿命を延ばす条件として、「スポーツ（体を動かすこと）」「栄養バランス（塩分薄め）」「ボランティアに取り組む」ことを挙げられ、市民活動支援に取り組む参加者にエールを送ってくださるとともに、青少年との食を通した向き合い方についてお話をいただきました。

【先生からの問い】(一部抜粋)

- ・天ぷらうどんの材料で輸入してないものは何か
- ・毎日食べても飽きがないメニューは何か
- ・偏食と食べ物の「好き嫌い」はどこが違うか
- ・偏食をなおす指導方法は何か
- ・間食と「お八つ」はどこが違うか
- ・学校給食が栄養格差を是正しているのはなぜか
- ・健康寿命日本一はどこか。三つの条件がある。



続いて、今年度研究や活動を終了される皆さまの研究や活動内容の紹介とポスターセッションを3グループに分けて行い、参加者全員で交流を深めていただきました。



最後のプログラムは、パネルディスカッション。信州大学 准教授 三和秀平先生にファシリテーターをお願いし「自分らしくいられる居場所について」をテーマに、高校生からベテランの市民団体の皆さままで 3 団体 4 名のパネリストの皆さまにご登壇いただきました。

ディスカッションでは、「自分らしくいられる居場所」として、「安全だと感じられる場所」「勇気をもって何かに挑戦できる場所」「好きなことに集中できる場所」「否定されない空間」といったさまざまな意見が挙がりました。また、学校や企業、自宅といった既存の所属先とは異なる“第三の居場所”が、一か所だけでなく複数の選択肢としてあることが望ましい、という共通認識も示されました。

市民団体の皆さまは多様なテーマで活動されていることから、団体同士が連携することで、居場所としての選択肢がさらに広がっていく可能性が感じられました。財団事務局としても、今後の助成活動を検討するうえでのヒントを得るとともに、大きな期待を抱く機会となりました。



右から、ファシリテーターの三和先生、パネリストの岩崎様、久住様、堀川様、村上様

最後に、選考委員の先生方から、本日の講評をいただきました。団体と活動の更なる発展に向けて、エールをいただきました。

このたびの、4時間にわたって開催した成果報告会、参加者皆さまの当日の様子やアンケート結果から所期の目的である、研究と実践の融合、地域同士をつなぐ役割を果たせたのではないかと感じました。今年度終了の皆様、大変お疲れ様でした。ありがとうございました。

これからも、マツダ財団は、研究者の皆さま、市民団体の皆さまと共に緩やかな繋がりをもち、青少年健全育成を通して地域を盛り上げて参りたいと考えています。

(本郷)